

NEWS

平成29年度暴力追放セミナー報告

2月9日（金）午後1時30分から名古屋国際会議場センチュリーホール（名古屋市熱田区）において、「平成29年度暴力追放セミナー」が開催されました。主催の（公財）暴力追放愛知県民会議は平成4年4月に設立され、暴力団対策法のもと暴力団の壊滅を目指し、暴力団員による不当な行為の防止及びこれによる被害の救済を図るなど、総合的な暴力団対策を推進しております。

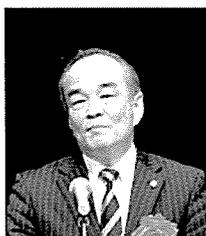
セミナーの開会のことばを、（公財）暴力追放愛知県民会議専務理事 梶浦正俊氏が述べ、第一部の「基調講演」が始まりました。

講師として愛知県警察本部刑事部組織犯罪対策局長 三好正則氏が登壇され、暴力相談活動、地域・職域における暴力団排除活動、暴力団による被害者等の保護・救済活動について詳しく説明がありました。また暴力団離脱者の社会復帰を支援する活動では、離脱相談、就労アドバイス、未成年者の暴力団への加入を未然に防ぐ活動、離脱者雇用給付金制度など、社会復帰が現実となるための支援について紹介されました。講習会の実施については、不当要求防止責任者講習会や暴力団追放のための広報啓発活動等について解説されました。暴排好事例発表は、愛知県弁護士会民事介入暴力対策委員会から発表がありました。

第二部では「暴追お笑い百科」テーマ1『暴力団と取引をしないために』と題して、お笑い芸人 アッパー and カットによる寸劇が演じられました。テーマ2『暴力団事務所の撤去』と題して、お笑い芸人 オレンジによる寸劇が演じられました。各寸劇の解



開会のことばを述べる
（公財）暴力追放愛知県民会議
専務理事 梶浦正俊氏



講演する愛知県警
三好組織犯罪対策局長



説を、愛知県警察本部組織犯罪対策課暴力団対策室長 飯田八寿夫氏、愛知県弁護士会民事介入暴力対策委員会委員長 青葉憲一氏が行い、日頃のちょっとした油断に付け入られてしまう要所要所を事例を交えて詳しく説明をされました。

第三部の「アトラクション」では、津軽三味線奏者 山口晃司氏による演奏が披露され、三味線の音色が会場中に響き渡り拍手喝采のもとセミナーは閉会となりました。

